



注意・指導 と ハラスメント の境界線

認知症の状態にある方への支援において
不適切ケアや虐待につながる

職員の「言葉や態度の乱れ」を発見した場合は
その場で注意喚起や指導を行う必要があります。
しかし昨今では、ちょっと注意・指導したとすべてが

「ハラスメント」と指摘されるような風潮があり
職員への教育がやりにくい時代となりました。

そこで成長を期待して指導する際に
ハラスメントと誤解されないためには
何がハラスメントで、何がそうではないのか
という線引きを理解しておくことが求められます
そのところ、本セミナーで一緒に学びましょう。

無料セミナー

言葉遣い・態度 相手にとつたら〇〇ハラスメント!?

7th 認知症 ×

お申し込み
QRコード



榎原宏昌先生
Since2015 <https://www.appare-kaigo.com/>

相手が成長することを期待しての指導が...

後援 (五十音順)
公益社団法人千葉県社会福祉協議会
社団法人千葉県社会福祉協議会
社団法人千葉県社会福祉協議会
特定非営利活動法人千葉県老人福祉施設協議会
特定非営利活動法人リンク (多分野多摩福祉活動やるネット)

お問い合わせ ▶ 0120-966-804
contact@chiba-shi-dc-shidousya.com

令和7年
3月22日(土)
13:30~16:50

千葉市八-モニープラザ2階
千葉市社会福祉研修センター
千葉市中央区千葉寺町1208-2

---Program---

①「注意・指導とハラスメント」その境界線
天晴れ介護サービス総合教育研究所
代表取締役 榎原宏昌先生

②トークセッション/実践で役立つ「接遇指導・教育」とは？
千葉市認知症介護指導者から事例を提示し
実際の指導・教育の場面では何に注意し、
どのように指導・教育を図っていったら良いのかを考える